

第 102 回

2017 年 7 月～9 月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性	3
2	全体の景況判断	5
	(ア) 全体の景況感	5
	(イ) 各項目の状況	7
3	主要指標のクロス分析	12
	(ア) 景況感別の動向	12
	(イ) 業種別の動向	13
	(ウ) 従業員規模別の動向	13
	(エ) 本社地区別の動向	13
4	経営上の問題点	14
5	その他の調査項目	17
	(ア) 人材の獲得について	17
6	経営指針書について	18
7	自由回答項目	20
	(ア) 景況理由	20
	(イ) 人材獲得対策の内容	29

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

前回より 33 件増加し、ここ 5 年では 2016 年第Ⅲ期(98 回)の 449 件に次ぐ回収数となった。サービス業（対事業所・対個人）が過半数、特に対事業所は全体の 30%以上を占める。従業員規模は 0~5 名が最も多く、20 名以下で 7 割以上。本社が福岡地区にあるのが全体の 2/3 以上。

第 102 回:調査時期:平成 29 年 8 月 31 日~9 月 25 日

回収数:442 件

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第101回		第102回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	
1	WEB	341	83.4	327	74	-9.4
2	FAX	68	16.6	115	26	9.4
	サンプル数(%ベース)	409	409	442	442	33
1.業種		第101回		第102回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業(生産財)	26	6.4	34	7.7	1.3
2	製造業(消費財)	35	8.6	35	8	-0.6
3	建設業(建築)	50	12.2	43	9.8	-2.4
4	建設業(土木)	10	2.4	12	2.7	0.3
5	建設業(設備)	19	4.6	27	6.1	1.5
6	商業・流通業	52	12.7	47	10.7	-2
7	サービス業(対事業所)	128	31.3	143	32.5	1.2
8	サービス業(対個人)	89	21.8	99	22.5	0.7
	不明	0	0	2	0	
	サンプル数(%ベース)	409	409	442	440	31
2.従業員数		第101回		第102回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名~5名	159	38.9	159	36	-2.9
2	6名~10名	79	19.3	90	20.4	1.1
3	11名~20名	69	16.9	76	17.2	0.3
4	21名~30名	32	7.8	40	9	1.2
5	31名~50名	32	7.8	27	6.1	-1.7
6	51名~100名	21	5.1	29	6.6	1.5
7	100名以上	17	4.2	21	4.8	0.6
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	409	409	442	442	33

3.本社所在地		第101回		第102回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	福岡地区	277	67.7	293	66.4	-1.3
2	北九州地区	45	11	41	9.3	-1.7
3	筑豊地区	51	12.5	47	10.7	-1.8
4	県南(筑後)地区	33	8.1	47	10.7	2.6
5	福岡県外	3	0.7	13	2.9	2.2
	不明	0	0	1	0	0
	サンプル数(%ベース)	409	409	442	441	32
4.所属支部		第101回		第102回		構成比増減
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	東支部	53	13.2	38	8.7	-4.5
2	福博支部	12	3.0	10	2.3	-0.7
3	博多支部	45	11.2	45	10.3	-0.9
4	中央支部	22	5.5	29	6.6	1.2
5	西支部	22	5.5	27	6.2	0.7
6	南支部	26	6.5	33	7.6	1.1
7	筑紫支部	16	4.0	12	2.7	-1.2
8	福友支部	38	9.4	53	12.1	2.7
9	青年支部	8	2.0	16	3.7	1.7
10	玄海支部	17	4.2	19	4.3	0.1
11	かすや支部	9	2.2	17	3.9	1.7
12	糸島支部	10	2.5	6	1.4	-1.1
13	北九州支部	29	7.2	23	5.3	-1.9
14	ひびき支部	12	3.0	18	4.1	1.1
15	のおがた支部	18	4.5	14	3.2	-1.3
16	飯塚支部	29	7.2	23	5.3	-1.9
17	田川支部	4	1.0	9	2.1	1.1
18	久留米支部	11	2.7	12	2.7	0.0
19	大牟田支部	12	3.0	15	3.4	0.5
20	有明支部	2	0.5	12	2.7	2.2
21	りょうちく支部	8	2.0	6	1.4	-0.6
	不明	6	1.5	5	1.1	-0.3
	サンプル数(%ベース)	409	403	442	437	34.0

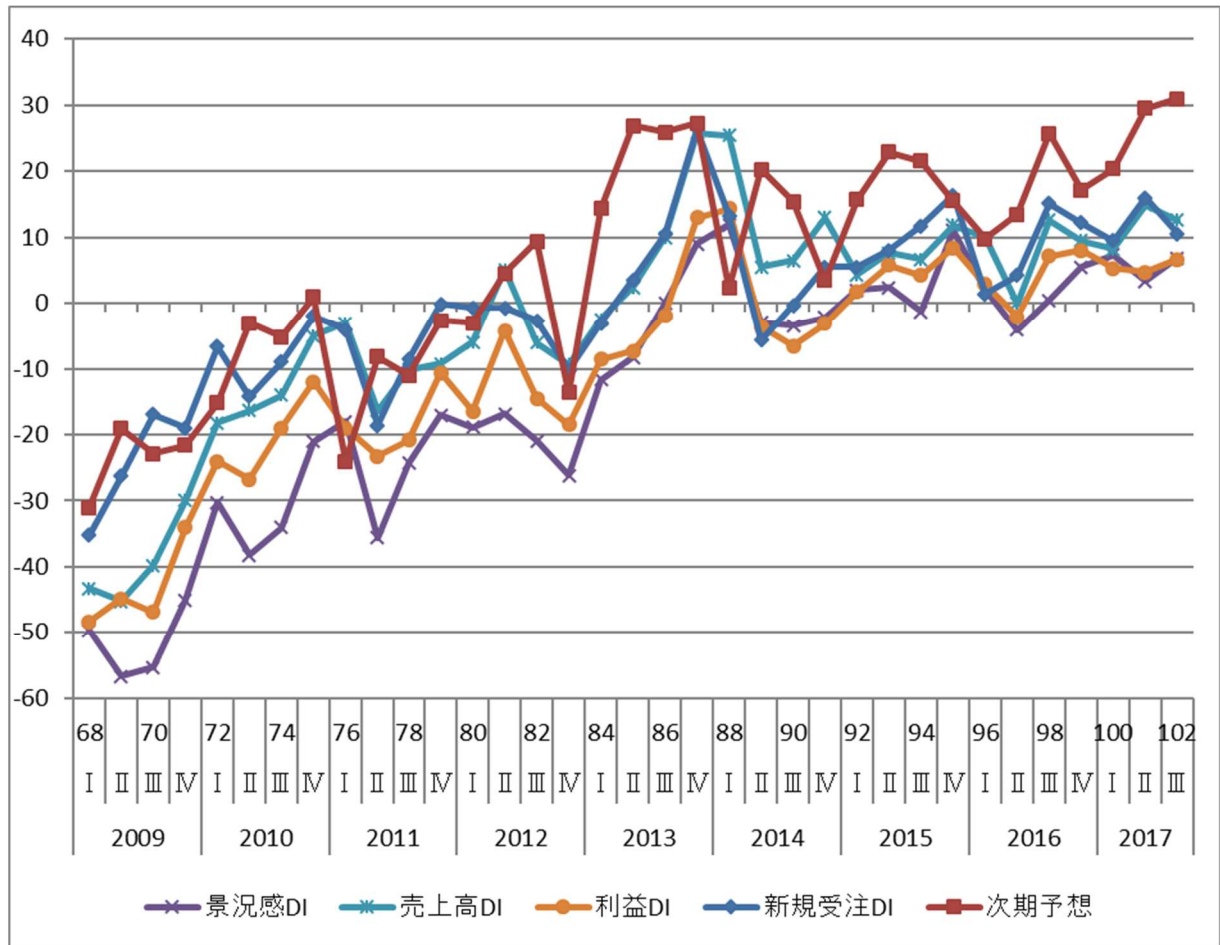
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よい-悪い)の状況はどうなっているか

景況感、利益、次期予想は改善、売上、新規受注は悪化したが一桁台であり、すべての項目はプラス域にある。次期予想は記録 62 回以降の最高（前回）を更新した。

全体の推移



	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	6.9	3.5
売上高 DI	12.6	-2.3
利益 DI	6.7	2.0
新規受注 DI	10.6	-5.4
次期予想 DI	31.0	1.5

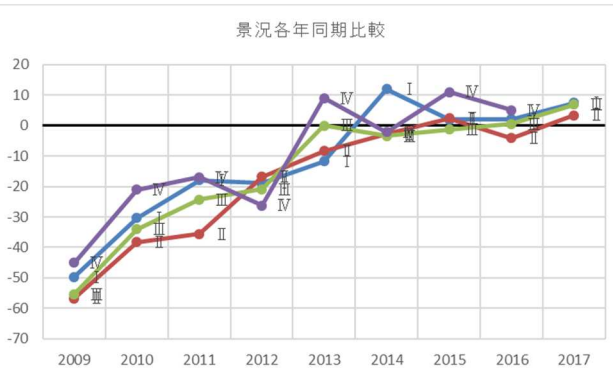
年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2009	I	68	491	-50	-43	-48	-35	-31	0
	II	69	421	-57	-45	-45	-26	-19.1	0
	III	70	475	-55	-40	-47	-17	-22.9	0
	IV	71	413	-45	-30	-34	-19	-21.6	-28
2010	I	72	432	-30	-18	-24	-7	-15.2	-17
	II	73	535	-38	-16	-27	-14	-3	-2
	III	74	485	-34	-14	-19	-9	-5.2	-18
	IV	75	426	-21	-5	-12	-2	0.9	-15
2011	I	76	349	-18	-3	-19	-4	-24	-28
	II	77	398	-36	-16	-23	-19	-8.2	-1
	III	78	374	-24	-10	-21	-9	-11	-15
	IV	79	341	-17	-9	-11	0	-2.7	-10
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-0
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	-3.6	-10
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-10
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	0
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-0
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-0
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.0
	IV	95	355	1.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.9
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7

2014以前は四捨五入

※資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、前年同期比較すると以下ような推移となっている。

	I	II	III	IV
2009	-50	-57	-55	-45
2010	-30	-38	-34	-21
2011	-18	-36	-24	-17
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	12	-3	-3	-2
2015	2	2	-1	11
2016	2	-4	0	5
2017	7.4	3.4	6.9	



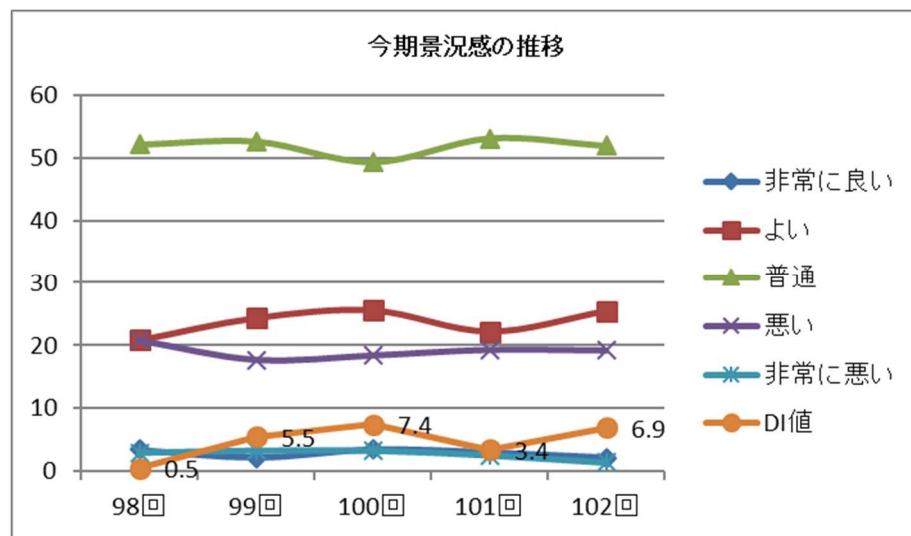
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2017年7月～9月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

「普通」「悪い」側が微減し「よい」が増加している。

5.今期景況判断		第101回	DI値	3.4	第102回	DI値	6.9	+3.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常に良い	12	3	25.2	9	2.1	27.5	-0.9
2	よい	90	22.2		111	25.4		+3.2
3	普通	215	53.1	53.1	227	51.9	51.9	-1.2
4	悪い	78	19.3		84	19.2		-0.1
5	非常に悪い	10	2.5	21.8	6	1.4	20.6	-1.1
	不明	4			5			
	サンプル数(%ベース)	409	405		442	437		32



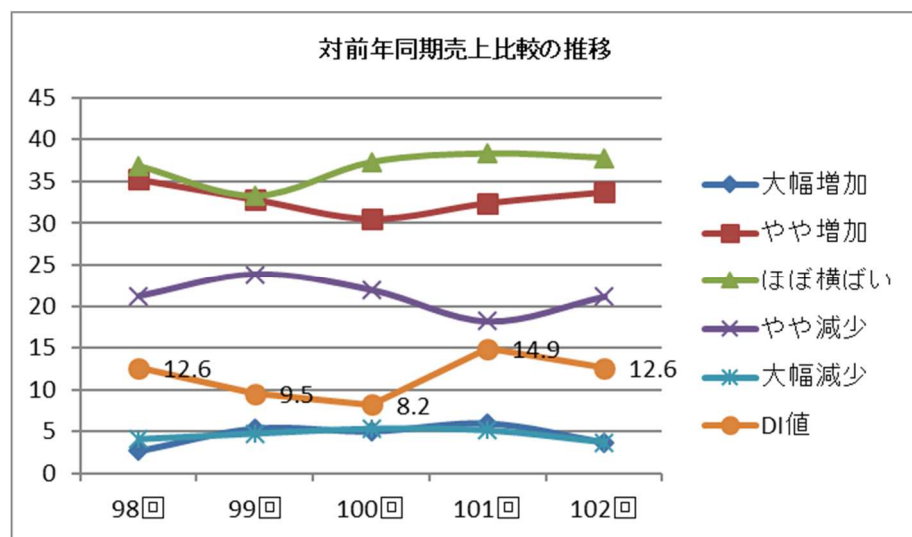
景況感が良かった側の理由としては企業努力の他、市況改善等により新規受注や顧客獲得につながったという声が多い。詳細は巻末の景況理由を参照。悪かった側としては取り組みの成果が出なかった他、季節的な要因やその他不本意な事情等の影響を受けたという回答がみられた。

売上高 DI

2017年7月～9月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2016年7月～9月)に比較してお答えください。

「やや増加」は微増ながら増加側が頭打ちとなり、「やや減少」の割合が増加し、前回より 2.3pt 下げたが二桁となっている。

6.対前年同期売上高比較				第101回	DI値	14.9	第102回	DI値	12.6	-2.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	増減				
1	大幅増加	24	5.9	16	3.7	-2.2				
2	やや増加	132	32.4	147	33.7	+1.3				
3	ほぼ横ばい	156	38.3	165	37.8	-0.5				
4	やや減少	74	18.2	92	21.1	+2.9				
5	大幅減少	21	5.2	16	3.7	-1.5				
	不明	2		6						
	サンプル数(%ベース)	409	407	442	436	29				



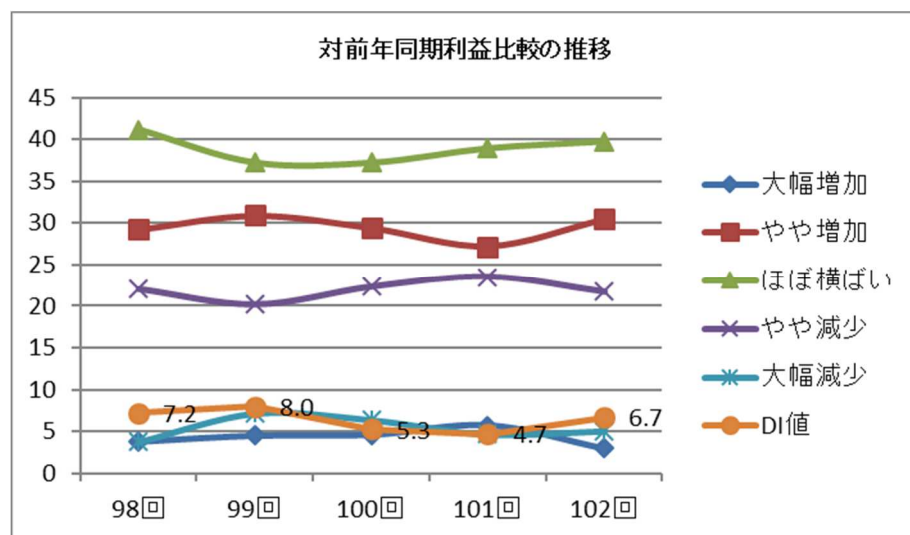
景況理由 pickup 「売上」	No.
少数制で売上変わらず利益を上げた。	(35)
職人不足により売上を増やすのは厳しい。	(91)
受注生産なので、常に売上高に変動があるため	(153)
取引先の売上低下	(159)
建設業関係は、毎年4月以降に仕事量が減り、9月ごろから官民共に仕事の発注をするのでこれから来年の3月くらいまでに売上が発生することになる。	(168)
8月は合併号があるため、7、8月を合わせて見る必要があるがそれでも去年と比較すると若干売上は落ちている。コスト圧縮をしているので利益幅は今年の方がよい。あとは9月で取り戻すので、今年がどうかということになる。前年並みで推移できれば、利益が見込めることになる。	(186)

利益 DI

2017年7月～9月期の貴社の「利益」について、前年同期((2016年7月～9月)に比較してお答えください。

「大幅増加」の回答は減少したが「やや増加」は増え、全体としては2.0の改善となった。

7.対前年同期利益比較				第101回	DI値	4.7	第102回	DI値	6.7	+2.0
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	増減	件数	(除不)%	増減	増減
1	大幅増加	23	5.7	13	3	-2.7	132	30.5	+3.3	+0.6
2	やや増加	110	27.2	132	30.5	+3.3	172	39.7	+0.8	
3	ほぼ横ばい	157	38.9	172	39.7	+0.8	94	21.7	-1.8	-1.4
4	やや減少	95	23.5	94	21.7	-1.8	22	5.1	+0.4	
5	大幅減少	19	4.7	22	5.1	+0.4	9			
	不明	5		9						
	サンプル数(%ベース)	409	404	442	433	29				



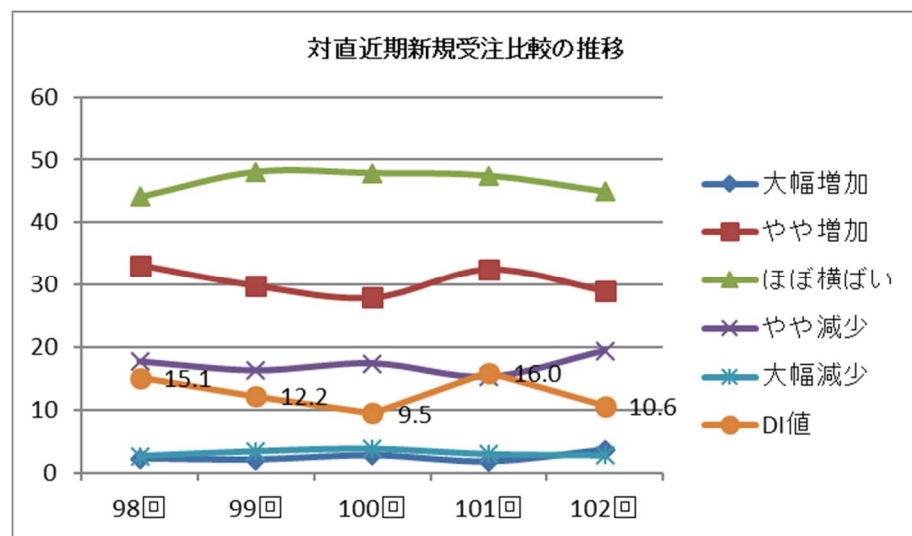
景況理由 pickup 「益」	No.
取引先の増益による。	(6)
減収増益	(7)
売り上げは増加しているのですが、原因不明の電気代増加で利益は落ちています。	(34)
少数制で売上変わらず利益を上げた。	(35)
季節変動要素、正社員増員による人件費上昇により増収減益	(67)
8月は合併号があるため、7、8月を合わせて見る必要があるがそれでも去年と比較すると若干売上は落ちている。コスト圧縮をしているので利益幅は今年の方がよい。あとは9月で取り戻すので、今年がどうかということになる。前年並みで推移できれば、利益が見込めることになる。	(186)

新規受注 DI

2017年7月～9月期の貴社の「新規受注」について、直前期(2017年4月～6月)に比較してお答えください。

「やや減少」の回答が増え、5.4pt下げたが二桁を保っている。

8.対直前期新規受注比較		第101回	DI値	16	第102回	DI値	10.6	-5.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	7	1.8	34.3	16	3.7	32.8	+1.9
2	やや増加	130	32.5		126	29.1		-3.4
3	ほぼ横ばい	190	47.5	47.5	195	45	45	-2.5
4	やや減少	61	15.3	18.3	84	19.4	22.2	+4.1
5	大幅減少	12	3		12	2.8		-0.2
	不明	9			9			
	サンプル数(%ベース)	409	400		442	433		33



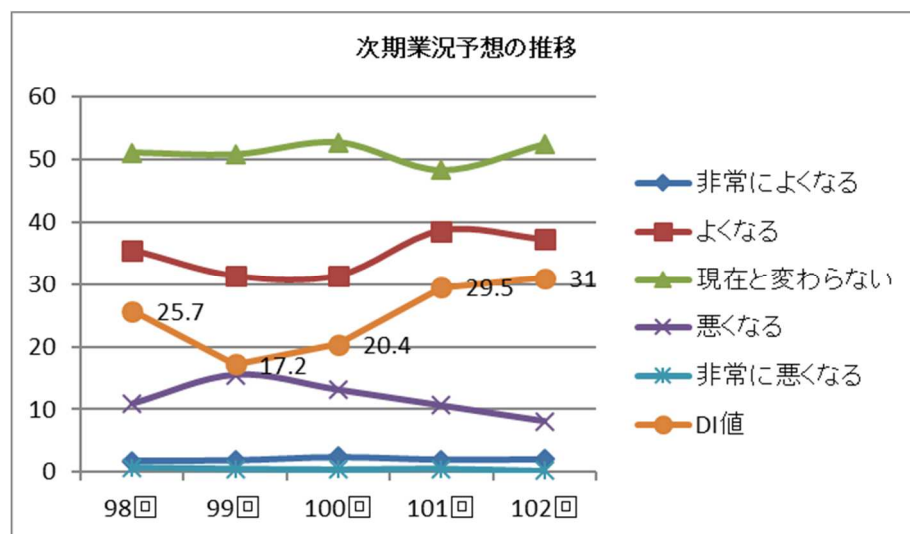
景況理由 pickup 「受注」	No.
前期受注工事の完了が7月に多かった	(24)
公共工事受注、新規建築物件増加に伴う工事増加	(26)
小・中学校の夏休みの工事の受注。	(27)
受注状況は厳しい状況である(リバースオークション等、安受注競争)。	(75)
熊本地震復旧工事の受注。	(87)
官公庁の案件受注減少	(131)
内部体制整備のため受注を厳選。	(140)
今まで受注していたお客様の仕事の流れが変わった。	(150)
既存ユーザーからの新規の受注が停滞	(161)
昨年同時期に熊本地震による特需があり、概ね今年5月頃までで特需もひと段落着いた模様。逆に人材不足により福岡案件のフォロー不足が生まれ、5～7月の受注が振るわず生産が減少した。	(165)
夏場の受注減少は毎年のことなので・・・	(193)

次期予想 DI

2017年10月～12月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

記録 62 回以降最高であった前回は更新し 31 となった。

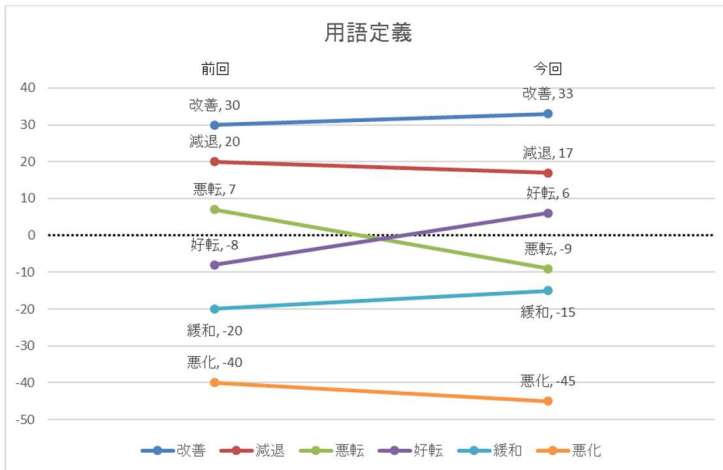
10.次期業況予想		第101回	DI値	29.5	第102回	DI値	31			+1.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減		
1	非常によくなる	8	2	40.6	9	2.1	39.3	+0.1	-1.3	
2	よくなる	156	38.6		161	37.2		-1.4		
3	現在と変わらない	195	48.3	48.3	227	52.4	52.4	+4.1		
4	悪くなる	43	10.6	11.1	35	8.1	8.3	-2.5	-2.8	
5	非常に悪くなる	2	0.5		1	0.2		-0.3		
	不明	5			9					
	サンプル数(%ベース)	409	404		442	433		29		



今回主として増加したのは「現在と変わらない」であり、「よくなる」は微減したが、「悪くなる」は継続的に減少している。

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

景況「よい」の回答構成比が増加している。景況感が「よい」側と「普通」は全項目プラス域であるが、売上 DI は若干下がった。景況感が「悪い」は売上・受注、「非常に悪い」は利益・受注が悪化した。次期予想 DI は景況感が「悪い」層で 8pt の改善となっている。

	第102回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値
	有効回答数	437	100%	433	430	431	431
今 期 景 況 感	非常に良い	9	2.1%(-0.9)	77.8(-5.6)	100(0)	88.9(25.3)	66.7(-16.7)
	よい	111	25.4%(3.2)	82(-1.4)	75(4.2)	66.4(2.3)	48.6(0.3)
	普通	227	51.9%(-1.2)	9.4(-3.7)	3.1(2.2)	5.8(-5.2)	26.7(0.7)
	悪い	84	19.2%(-0.1)	-72.3(-12.5)	-77.1(-9.2)	-52.4(-31.7)	17.1(8)
	非常に悪い	6	1.4%(-1.1)	-83.3(-3.3)	-83.3(-13.3)	-100(-20)	0(-50)

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなようであったか

製造業は前回に引き続き悪化している。次期予想はともにプラスのままであるが方向性は分かれた。その他全体的にプラス域が多く、建設業や商業・流通業の改善が目立つ。

	第102回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI
	クロス回答数		435(30)	434(27)	431(27)	431(31)	431(27)
	全体	440	7.4(3.9)	13.1(-1.9)	7.2(2.5)	10.7(-5.3)	30.6(1.2)
業種	製造業(生産財)	34	-3(9)	-2.9(-14.5)	-20.6(-16.7)	-3.1(-15.1)	18.2(-9.8)
	製造業(消費財)	35	-28.1(-4.6)	-31.3(-2.7)	-33.3(-4.8)	-24.2(-38.5)	21.2(12.4)
	建設業(建築)	43	20.9(12.9)	16.3(6.3)	7.1(11.2)	32.6(30.6)	35.7(3.7)
	建設業(土木)	12	25(5)	25(5)	18.2(28.2)	16.7(6.7)	27.3(7.3)
	建設業(設備)	27	11.1(5.8)	7.4(-8.4)	14.8(-1)	18.5(2.7)	46.2(14.6)
	商業・流通業	47	10.6(16.4)	23.4(4.2)	17.8(8.2)	14.9(10.9)	21.3(-6.2)
	サービス業(対事業所)	143	9.9(-1.2)	20(-7)	12.8(-2.3)	11.3(-12.5)	35.2(-3.4)
	サービス業(対個人)	99	8.1(0.1)	17.2(1.4)	14.3(7.4)	11.6(-10.8)	29.9(4.9)

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

ほとんどの項目がプラス域ではあり、21~30名規模で改善が目立つが、11名~20名でマイナス域になっている。全体的には売上、受注が減退している。

	第102回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI
	クロス回答数		437(32)	436(29)	433(29)	433(33)	433(29)
	全体	442	6.9(3.4)	12.6(-2.4)	6.7(2)	10.6(-5.4)	30.9(1.5)
従業員規模	0名~5名	159	7(1.9)	17.3(2.1)	11.6(0.9)	16.6(-1.3)	38.5(3.7)
	6名~10名	90	6.8(-0.8)	8(-3.6)	4.6(2)	2.3(-14.4)	33.7(3.9)
	11名~20名	76	-5.3(3.8)	-5.3(-16.9)	-5.3(6.4)	-1.4(-8.9)	19.7(-8.2)
	21名~30名	40	15(24.4)	22.5(19.4)	7.5(7.5)	15(11.9)	28.2(-3)
	31名~50名	27	14.8(5.1)	18.5(-6.5)	11.1(-7.6)	18.5(-4.8)	25.9(10.3)
	51名~100名	29	17.9(3.6)	17.2(-11.3)	20.7(11.2)	3.6(-16.4)	21.4(1.4)
	100名以上	21	9.5(-8.1)	28.6(-0.8)	-5(-5)	35(-0.3)	28.6(10.9)

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

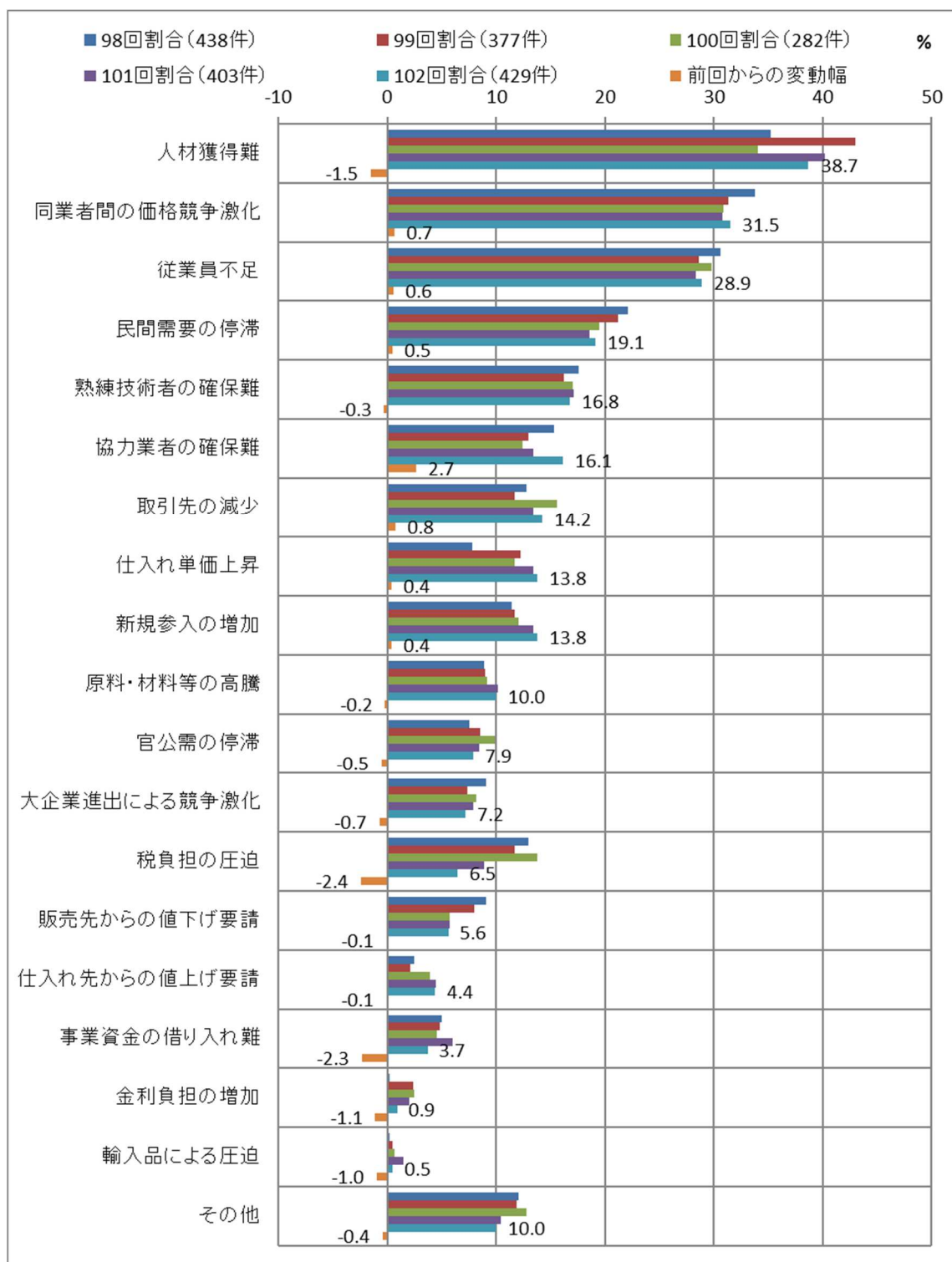
北九州地区は今回は悪化し、浮沈を繰り返している。また筑豊も売上・受注は悪転したが景況は好転した。逆に県南は売上・利益は改善したが景況は悪転となっている。

	第102回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI
	クロス回答数		436(31)	435(28)	432(28)	432(32)	432(28)
	全体	441	6.9(3.4)	12.6(-2.3)	6.7(2)	10.6(-5.4)	31(1.6)
本社地区	福岡地区	293	11.3(4.4)	15.9(-3)	8.3(0)	14.1(-3.8)	33.2(1.8)
	北九州地区	41	-17.5(-15.3)	-7.3(-14.1)	-15(-3.4)	-10.3(-15)	14.6(-7.6)
	筑豊地区	47	8.7(18.7)	0(-3.9)	-4.5(3.3)	-2.2(-12.2)	39.1(9.1)
	県南(筑後)地区	47	-4.3(-4.3)	17(11)	21.3(8.8)	9.1(-6.5)	21.7(-0.1)
	福岡県外	13	15.4(-34.6)	30.8(-35.9)	23.1(-26.9)	46.2(-53.8)	38.5(5.1)

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの上位3項目を選んでご回答ください。

「人材獲得難」が 1.5pt 減少、「税負担の圧迫」は 2.4pt 減少した。



業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (对个人)
回答件数	428	34	34	42	11	27	47	140	93
人材獲得難	38.6	50	26.5	45.2	45.5	59.3	29.8	31.4	44.1
同業者間の価格競争激化	31.5	32.4	26.5	21.4	9.1	11.1	59.6	36.4	24.7
従業員不足	28.7	14.7	8.8	31	18.2	33.3	25.5	32.1	36.6
民間需要の停滞	19.2	17.6	32.4	14.3	-	22.2	21.3	18.6	18.3
熟練技術者の確保難	16.6	20.6	11.8	45.2	63.6	37	2.1	11.4	7.5
協力業者の確保難	16.1	14.7	14.7	57.1	36.4	29.6	4.3	12.1	4.3
取引先の減少	14.3	8.8	29.4	9.5	-	3.7	14.9	12.9	19.4
仕入れ単価上昇	13.8	32.4	26.5	16.7	9.1	11.1	23.4	4.3	11.8
新規参入の増加	13.8	5.9	2.9	2.4	-	11.1	19.1	15	23.7
原料・材料等の高騰	10	17.6	23.5	11.9	9.1	11.1	12.8	3.6	9.7
官公需の停滞	7.9	5.9	5.9	2.4	45.5	14.8	6.4	10	3.2
大企業進出による競争激化	7.2	8.8	2.9	-	-	3.7	6.4	10	9.7
税負担の圧迫	6.5	8.8	8.8	4.8	-	-	8.5	7.9	5.4
販売先からの値下げ要請	5.6	2.9	2.9	2.4	9.1	3.7	10.6	9.3	1.1
仕入れ先からの値上げ要請	4.4	11.8	8.8	2.4	9.1	-	12.8	0.7	3.2
事業資金の借り入れ難	3.7	5.9	5.9	-	9.1	3.7	4.3	3.6	3.2
金利負担の増加	0.9	-	-	-	-	3.7	2.1	0.7	1.1
輸入品による圧迫	0.5	-	2.9	-	-	-	-	0.7	-
その他	10	2.9	11.8	2.4	9.1	7.4	10.6	12.1	12.9

各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

全体では人材獲得難の他、価格競争激化が多い。
 その他製造業や商業流通業で「仕入単価上昇」、サービス業で「新規参入の増加」などが挙げられている。

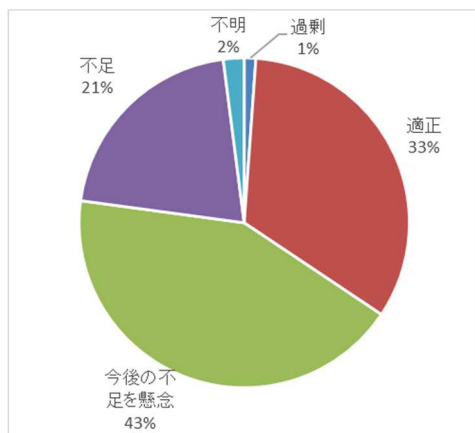
本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南 (筑後)地区	福岡県外
回答件数	428	284	41	45	46	12
人材獲得難	38.8	37.0	39.0	44.4	47.8	25.0
同業者間の価格競争激化	31.5	33.5	19.5	37.8	26.1	25.0
従業員不足	28.7	26.4	26.8	35.6	32.6	50.0
民間需要の停滞	19.2	16.2	26.8	20.0	32.6	8.3
熟練技術者の確保難	16.8	15.5	19.5	20.0	17.4	25.0
協力業者の確保難	16.1	17.3	14.6	11.1	15.2	16.7
取引先の減少	14.3	14.8	12.2	13.3	15.2	8.3
仕入れ単価上昇	13.8	12.0	19.5	17.8	17.4	8.3
新規参入の増加	13.8	15.1	14.6	13.3	4.3	16.7
原料・材料等の高騰	10.0	10.2	9.8	8.9	8.7	16.7
官公需の停滞	7.9	9.9	4.9	-	4.3	16.7
大企業進出による競争激化	7.2	7.4	4.9	13.3	2.2	8.3
税負担の圧迫	6.5	6.0	7.3	8.9	2.2	25.0
販売先からの値下げ要請	5.6	6.0	7.3	4.4	2.2	8.3
仕入れ先からの値上げ要請	4.4	4.9	2.4	4.4	4.3	-
事業資金の借入れ難	3.7	4.6	2.4	-	2.2	8.3
金利負担の増加	0.9	1.1	2.4	-	-	-
輸入品による圧迫	0.5	0.4	-	-	2.2	-
その他	10.0	10.9	9.8	8.9	6.5	8.3

各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

5 その他の調査項目

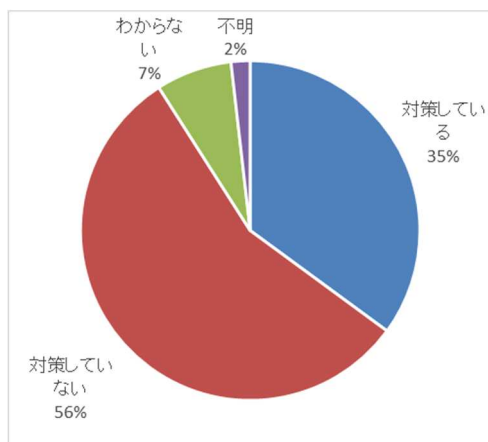
(ア) 人材の獲得について

13.人材の獲得状況		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	過剰	5	1.2	1.1
2	適正	147	33.9	33.3
3	今後の不足を懸念	189	43.6	42.8
4	不足	92	21.2	20.8
	不明	9		2
	N (%ベース)	442	433	100



現在の人材獲得状況で適正だと考えているのは約3割であり、6割以上が不足または不足を懸念している。

14.人材獲得対策		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	対策している	155	35.7	35.1
2	対策していない	247	56.9	55.9
3	わからない	32	7.4	7.2
	不明	8		1.8
	N (%ベース)	442	434	100



人材獲得対策については過半数が特に何も取り組んでいない。

内容の詳細は巻末の自由回答を参照。頻出キーワード等による内容分類では右表のようなものが挙がった。

求人広告	28
新卒	19
ハローワーク	16
海外	8
インターン	7
ネット	7
紹介	6
待遇	5
中途	4
バイト	1

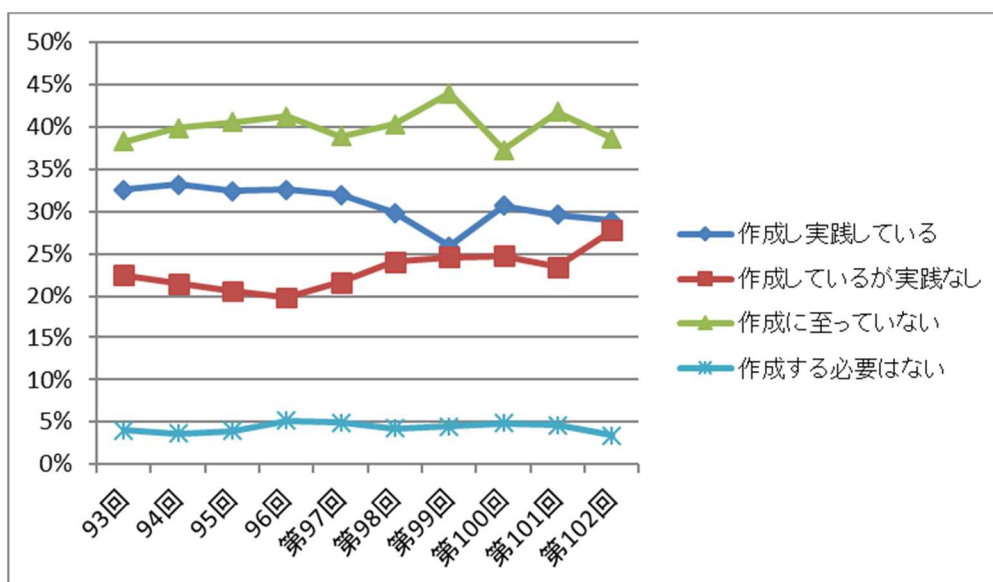
6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

今回は「作成に至っていない」という回答は減少したが実践なしが増加した。

経営指針書の作成と実践		第101回		第102回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	121	29.7	128	29.3	-0.4
2	作成しているが実践なし	96	23.6	123	28.1	4.5
3	作成に至っていない	171	42	171	39.1	-2.9
4	作成する必要はない	19	4.7	15	3.4	-1.3
	不明	2		5		0.0
	サンプル数(%ベース)	409	407	442	437	30



検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

実践している企業のほとんどは一定の頻度で検証している。

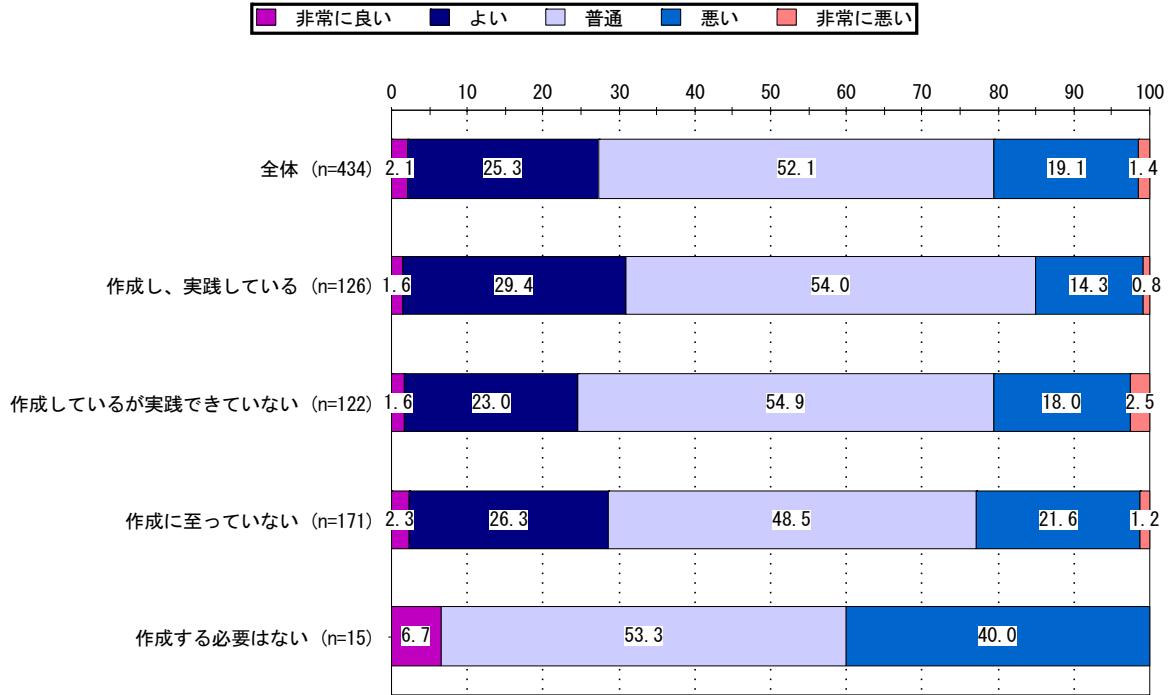
20.経営指針書の検証について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	54	43.9	42.2
2	毎月ではないが検証している	54	43.9	42.2
3	年に1回は検証している	15	12.2	11.7
4	全く検証していない	0	0	0
	不明	5		3.9
	サンプルサイズ(n値)	128	123	100

経営指針書の成果

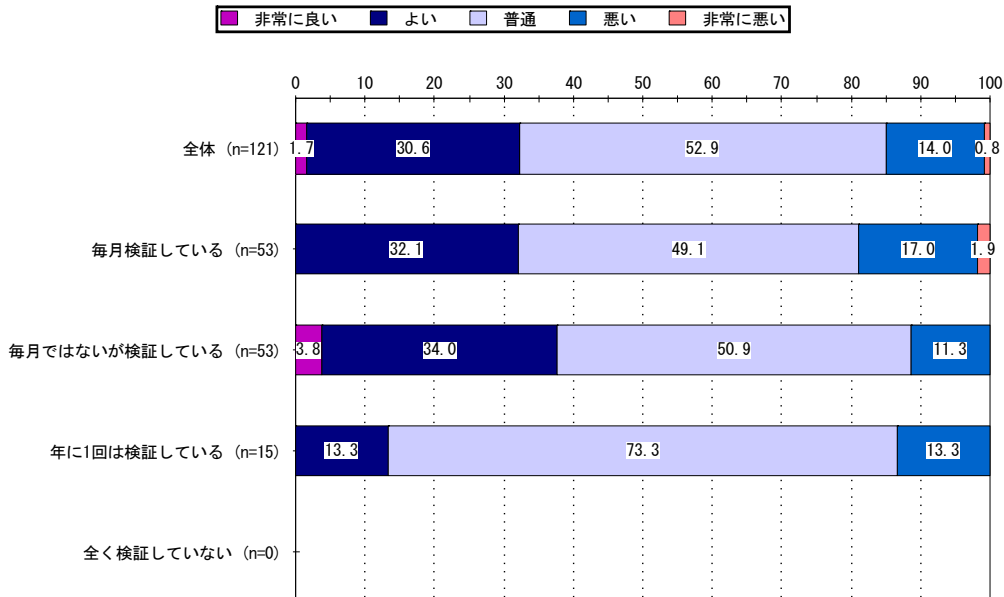
経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

作成し実践する企業は「悪い」側が少なくなっている。検証頻度は毎月ではない方が状況が良いが、それで充分であるという企業の余裕度と関連していると考えられる。

5. 今期景況判断 × 16. 経営指針書について



5. 今期景況判断 × 16. 経営指針書の検証について



7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	景況	業種	従業員数	本社	景況理由
1	非常に良い	建設業(建築)	6名～10名	福岡	建築バブルの為、業界全体が繁忙の時期なのではないかと思われます。
2	非常に良い	建設業(設備)	0名～5名	福岡	公共工事。
3	非常に良い	商業・流通業	51名～100名	福岡	新規のお客様の増加。
4	非常に良い	商業・流通業	6名～10名	福岡	新規開拓に成功したため。
5	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	設備投資の結果、外部商材のヒット！
6	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	取引先の増益による。
7	非常に良い	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	減収増益
8	よい	製造業(生産財)	21名～30名	筑後	新規顧客の開拓
9	よい	製造業(生産財)	31名～50名	福岡	営業体制を強化したこと
10	よい	製造業(生産財)	6名～10名	筑豊	たまたま取引先が契約がうまくいっただけ
11	よい	製造業(消費財)	0名～5名	福岡	販売先の売り上げ増による。
12	よい	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	前期繰越の受注残の消化で販売実績を確保した。その消化プロセスの段階で生産応援のため営業活動時間が削減されたこと、新規物件に対する納期対応ができず機会損失をしたため、新規受注が減少している。
13	よい	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	新規開拓の成果。最低賃金の毎年アップには頭・首をかしげます！
14	よい	建設業(建築)	0名～5名	福岡	住宅業界全体の景気が回復してきているため
15	よい	建設業(建築)	0名～5名	北九	改修工事の増加。
16	よい	建設業(建築)	21名～30名	福岡	弊社の技術的な信用度が広がってきている
17	よい	建設業(建築)	6名～10名	福岡	営業活動を従来通り継続したため
18	よい	建設業(建築)	6名～10名	筑豊	個人住宅の着工件数が増えている。

19	よい	建設業(土木)	0名～5名	福岡	公共工事による仕事量の増加。
20	よい	建設業(土木)	11名～20名	筑豊	地域への社会貢献。
21	よい	建設業(土木)	21名～30名	福岡	設備投資を増やした。
22	よい	建設業(土木)	6名～10名	福岡	新築着工が増加した為
23	よい	建設業(設備)	0名～5名	福岡	毎年、公共工事の夏休み工事があるから。
24	よい	建設業(設備)	21名～30名	筑後	前期受注工事の完了が7月に多かった
25	よい	建設業(設備)	51名～100名	福岡	福岡都市圏における建設投資は、まだ底堅いものがある。
26	よい	建設業(設備)	6名～10名	福岡	公共工事受注、新規建築物件増加に伴う工事増加
27	よい	建設業(設備)	6名～10名	福岡	小・中学校の夏休みの工事の受注。
28	よい	商業・流通業	0名～5名	福岡	新規獲得
29	よい	商業・流通業	100名以上	福岡	輸出単価が上向く。
30	よい	商業・流通業	100名以上	福岡	さまざまな集客のアイデアが実行されている為
31	よい	商業・流通業	11名～20名	福岡	営業活動によって
32	よい	商業・流通業	11名～20名	福岡	前年同期と比べ相場が上昇したため
33	よい	商業・流通業	11名～20名	福岡	復興支援関連の仕事があったため
34	よい	商業・流通業	21名～30名	福岡	売り上げは増加しているのですが、原因不明の電気代増加で利益は落ちています。
35	よい	商業・流通業	21名～30名	福岡	少数制で売上変わらず利益を上げた。
36	よい	商業・流通業	31名～50名	福岡	4～6月が良好だったため
37	よい	商業・流通業	31名～50名	福岡	広告費の投入を増やしたため。
38	よい	商業・流通業	6名～10名	福岡	新商品の売れ行き好調。様々な勉強会や情報収集により自社内で販売促進のノウハウを構築できた。
39	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	業界動向として、今年いっぱいには需要があるため
40	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	臨時の受注が入ったため
41	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	小物件増加の為
42	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	長期案件が増えたため、売り上げに反映されるのは先になるが、単価は上がっている。
43	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	特に外部環境的なものはない。地道な自社のお客作りの活動が成果を出している。

44	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	ご紹介の頻度が上がり、また、サービスの整理によりメリットを分かりやすく伝えられるようになった。
45	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新会社設立が重なり受注が増えた
46	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	平成29年4月の法改正に伴う新規需要。
47	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	紹介が増えたため。
48	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	契約単価の値上げ件数の増加による。
49	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	年間計画どおり
50	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	顧客のIT投資意欲の向上
51	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	職員教育の成果。
52	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	協力業者に依頼することで全体の売り上げ増加。新規顧客とサービスの取り組みの成果。
53	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	地場企業の採用活動が難しくなっているため。弊社提供サービスへの依頼が高まった。
54	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	県外	客数が増えた。
55	よい	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	営業活動の成果、人員増加。
56	よい	サービス業(対事業所)	21名～30名	筑豊	顧客数が増加しているため
57	よい	サービス業(対事業所)	31名～50名	県外	継続的な営業活動
58	よい	サービス業(対事業所)	51名～100名	筑後	ニーズの掘り起こしと営業活動の広がりによる。
59	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	紹介
60	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	筑豊	天候、公共工事(大型建築物が多かった)
61	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	筑豊	円高による原価低迷、人不足による生産性降下。
62	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	シーズンのため。
63	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	ネット広告。
64	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	筑後	購入した土地が高く売れたので！
65	よい	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	値上げと会員増。
66	よい	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡	営業マンのおかげ。
67	よい	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊	季節変動要素、正社員増員による人件費上昇により増収減益
68	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	新規顧客と取引先の仕事増。
69	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	新たなサービス展開

70	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	3月に向けて園児(お客様)の入園が増えていくので。
71	普通	製造業(生産財)	0名～5名	筑後	市場の動きが遅い
72	普通	製造業(生産財)	11名～20名	筑豊	成り行き。
73	普通	製造業(生産財)	11名～20名	筑後	現在は減少したが、新規顧客が増えたため。
74	普通	製造業(生産財)	21名～30名	福岡	災害等が多く、実行予算の消化や、通常予算の計画がされていません。
75	普通	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	受注状況は厳しい状況である(リバースオークション等、安受注競争)。
76	普通	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	自社の新社屋建設の為に自社製品と加工に注力した為。
77	普通	製造業(生産財)	6名～10名	福岡	業界縮小。
78	普通	製造業(生産財)	6名～10名	福岡	酷暑による
79	普通	製造業(生産財)	6名～10名	北九	小ロットの短納期品が多く、まとまった案件が無かった。
80	普通	製造業(生産財)	6名～10名	筑豊	取引先の業況による
81	普通	製造業(生産財)	6名～10名	筑後	ふるさと納税。
82	普通	製造業(消費財)	11名～20名	福岡	消費傾向はよくなっていない。旧来の贈答は減少していく状況だから
83	普通	製造業(消費財)	11名～20名	福岡	業界的に少し下がっている？のと、新規開拓をする人員の不足、採用難が影響している。
84	普通	製造業(消費財)	11名～20名	筑後	天候の影響による。
85	普通	製造業(消費財)	21名～30名	筑後	既存店はやや厳しいが、新店舗にてカバーしている。
86	普通	製造業(消費財)	31名～50名	県外	去年はプレミアム商品券など時期的、スポットの仕事が多かったため。
87	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡	熊本地震復旧工事の受注。
88	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡	ホームページからの問い合わせが増えた。
89	普通	建設業(建築)	0名～5名	北九	新規の顧客紹介があり受注につながった。
90	普通	建設業(建築)	100名以上	福岡	福岡地区は人口の増加で住宅は入居率も上がっている。
91	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡	職人不足により売上を増やすのは厳しい。
92	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡	入札物件の受注失敗。
93	普通	建設業(建築)	11名～20名	筑後	新規開拓。
94	普通	建設業(建築)	6名～10名	福岡	建築できる土地不足。大手資本会社の土地の買占め。

95	普通	建設業(建築)	6名～10名	北九	他業務で施工体制が作れなかった
96	普通	建設業(土木)	21名～30名	福岡	季節要因、猛暑による作業能率の低下。
97	普通	建設業(土木)	21名～30名	福岡	国・地方自治体の工事発注が少ない。
98	普通	建設業(設備)	0名～5名	福岡	4月に採用したが生産が上がっていない為。
99	普通	建設業(設備)	0名～5名	福岡	日頃コツコツやっています。
100	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡	顧客が安定している。
101	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡	新規元請の増加。
102	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡	需要の停滞、新規案件が取れてない。
103	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡	新米入荷と景品用の米の受注。
104	普通	商業・流通業	0名～5名	筑後	仕入先を変えた為
105	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡	社員の意識。
106	普通	商業・流通業	11名～20名	北九	設備投資が足踏み状態。
107	普通	商業・流通業	21名～30名	北九	現状変わらず、先に繋がる結果を出せていない。
108	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡	昨年に比べたい風の影響が少なかった。4
109	普通	商業・流通業	31名～50名	筑豊	民需の停滞(業界の)。
110	普通	商業・流通業	51名～100名	筑豊	製造業の稼動が一進一退。
111	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新規の受諾が減少
112	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	行政等の日程の関係
113	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新規のお客様を得たが、従来のお客様の仕事がなくなった。
114	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	既存顧客の減少と新規顧客の増加がプラスマイナスゼロになった状態
115	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	助成金、顧客の増加。
116	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	個人事業につき安易な拡大は自重している。
117	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	客単価を上げることができた。
118	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新規事業を始めたため。
119	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	事業環境の変化
120	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新規案件の獲得を控えているため。
121	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	取引先が増えたから。

122	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	仕込みの時間があり、具体的な取引きになるのは2018年からになる予定。
123	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	県外	これまで単発契約ばかりだったので、固定収入ではなかったが、定期的な売り上げが入る受注を7月にスタートした為。
124	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	法改正案件が次年度以降先送りになったため
125	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	新入社員教育に徹することを選択した為。
126	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	普段の営業活動の成果。
127	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	県外	季節柄による。
128	普通	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	従業員の退職により、引継ぎに時間がかかったため。
129	普通	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	制度変更により全体の顧客数が伸びとどまっているため。
130	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	経済の動きに特徴的なものがない
131	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	官公庁の案件受注減少
132	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	新規事業立ち上げ分。
133	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	得意先の周年行事のため今年は実施せず。
134	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	県外	来所者が増えた。作品が増えた。
135	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	昨年起業したばかりで昨年した種まきの芽が出てきたため。
136	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊	昨年が開業2年目であり、業績が悪かったから。
137	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊	努力不足。
138	普通	サービス業(対個人)	100名以上	福岡	改善活動、スクラップ&ビルド。
139	普通	サービス業(対個人)	100名以上	筑後	コスト削減。
140	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	内部体制整備のため受注を厳選。
141	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	北九	昨年在悪過ぎた。
142	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	北九	店舗により差が激しい。
143	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	筑後	他店の撤退。
144	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	筑後	多分、業界では実施されていないであろうTELアポイントの実施により、飛び込みよりも効率的に新規受注が増えたことが良い結果につながった。
145	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	他業者像による受注増、新規サービスの提供開始。

146	普通	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	知名度が上がった。
147	普通	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	通販が減少した為。
148	普通	サービス業(対個人)	6名~10名	北九	スタッフの増加。
149	普通	サービス業(対個人)	6名~10名	筑豊	営業力
150	悪い	製造業(生産財)	0名~5名	福岡	今まで受注していたお客様の仕事の流れが変わった。
151	悪い	製造業(生産財)	21名~30名	福岡	営業力ダウン
152	悪い	製造業(生産財)	51名~100名	筑後	需要の低迷
153	悪い	製造業(生産財)	6名~10名	福岡	受注生産なので、常に売上高に変動があるため
154	悪い	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	不明、7月は特に不調。人手不足(大工さん)による現場進行の遅れ。
155	悪い	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	社会全体が衰退しているのではないか? 商店、企業等からの発注が無い。
156	悪い	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	時期的なものもある。
157	悪い	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	原材料不足。
158	悪い	製造業(消費財)	11名~20名	北九	新規得意先、新規商品の受注の取り組みに成果がでなかった
159	悪い	製造業(消費財)	11名~20名	筑豊	取引先の売上低下
160	悪い	製造業(消費財)	21名~30名	北九	従来顧客意外にも営業しているため。
161	悪い	製造業(消費財)	31名~50名	福岡	既存ユーザーからの新規の受注が停滞
162	悪い	製造業(消費財)	6名~10名	福岡	購買者の減少。
163	悪い	建設業(建築)	0名~5名	福岡	わからない
164	悪い	建設業(建築)	0名~5名	福岡	工事期間が天候等によりずれた為。
165	悪い	建設業(建築)	11名~20名	福岡	昨年同時期に熊本地震による特需があり、概ね今年5月頃までで特需もひと段落着いた模様。逆に人材不足により福岡案件のフォロー不足が生まれ、5~7月の受注が振るわず生産が減少した。
166	悪い	建設業(建築)	6名~10名	北九	受注予定がずれ込んだ。
167	悪い	建設業(設備)	11名~20名	福岡	大型工事が減った。
168	悪い	建設業(設備)	31名~50名	筑豊	建設業関係は、毎年4月以降に仕事量が減り、9月ごろから官民共に仕事の発注をするのでこれから来年の3月くらいまでに売上が発生することになる。

169	悪い	建設業(設備)	6名~10名	福岡	業界に対する規制。
170	悪い	商業・流通業	0名~5名	福岡	新規顧客の開拓が出来ていません。4月から動いていますが、会社の方針固めと他社とのタイアップなど課題が多くなっています。
171	悪い	商業・流通業	100名以上	福岡	社員の不足。
172	悪い	商業・流通業	6名~10名	福岡	天候に左右されている傾向が大きい
173	悪い	商業・流通業	6名~10名	福岡	受注数(1回)、回数の減少
174	悪い	商業・流通業	6名~10名	筑後	得意先での生産の減少(末端顧客の減少に伴う)
175	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	IT補助金ですすめていた3社受注のため。
176	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	営業力の無さ。
177	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	競合他社による弊社受注減。
178	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	新規契約よりも解除の額が大きかった。
179	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	筑後	販売価格の値下げや為替レートの変動。
180	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	新規開拓と価格改定(値上げ)
181	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	筑後	新規・臨時案件の受注不足と人件費のUP、その他解約
182	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	人材不足
183	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	得意先がM&Aで他社に吸収された。
184	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	仕入れ(派遣業の為、労働力人材)の確保ができなかった。
185	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	組織改変に伴い、経験不足の社員に営業を任せため。
186	悪い	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	8月は合併号があるため、7、8月を合わせて見る必要があるがそれでも去年と比較すると若干売上は落ちている。コスト圧縮をしているので利益幅は今年の方がよい。あとは9月で取り戻すので、今年がどうかということになる。前年並みで推移できれば、利益が見込めることになる。
187	悪い	サービス業(対事業所)	51名~100名	筑後	少子高齢化と経済低迷
188	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	大口の取引先との請求締め切り日の関係から、上記の通りとなっているが、通年で見れば業績は着実に伸びている。
189	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	営業力不足
190	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	就業規則の制定により人件費UP
191	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	今、当社ではリース販売の整備・メンテナンスを受けていますが、価格は、異常に安く競争して受注というのが現状ですので粗利は減少です。

192	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	移転と欠員が発生したため。
193	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	筑後	夏場の受注減少は毎年のことなので・・・
194	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊	仕入価格の高騰
195	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	県外	経費削減(人件費)と考慮(細かなシフト)。
196	悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	市場の減少。
197	悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	北九	消費の低迷と、同業者が増えた。
198	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	前年も悪かったので、横ばい状態である
199	悪い	-	11名～20名	筑豊	5月に2号店を出したことで、
200	悪い	-	11名～20名	県外	意識の低下。
201	非常に悪い	製造業(生産財)	0名～5名	筑後	大幅な工期の変更
202	非常に悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡	お客の広がりがまだまだ。
203	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	1月に、開発案件受注(立体画像情報にてベルトコンベアの傷を深さ・面積等で破断を予知する)を受注する。1月～3月までに装置設計・ソフトウェアを作成。5月から模擬装置にて検証(当初1ヶ月間を予定)を開始「客先の都合で検証開始時期が4月から5月に変更となる」。次の問題が発生、当初仕様でない検査項目の追加が発生(追加費用の話は、難航)、机上(頭の中で考慮したベルトの傷状態の違いによる判別手法の改良等の対策)との違いによる対策調整の長期化。完成が8月 end にずれ込む、調整時に発生するであろう想定内の問題を越える期間を必要とした。未だ、追加費用の話は、難航している状態である。当初予定していた6月以降の別開発案件を失注する。9月以降の受注を模索してるが難航している状態である。繋ぎ資金を銀行及び政策金融公庫に追加融資をお願いして、1.5 か月分(150万円)を行うも7月8月で消費して資金が枯渇する状態になる。
204	-	製造業(生産財)	51名～100名	筑後	年間受注の9割を3～5月に受注する。質問 5.8.10 は回答困難。

(イ) 人材獲得対策の内容

No	人材過不足	業種	従業員規模	地区	対策内容
1	過剰	建設業(設備)	31名～50名	筑豊	今後の不足を想定して、利益が減少してでも過剰ともいえる人材の確保にこれまでの利益を充てている。
2	過剰	商業・流通業	31名～50名	福岡	新卒採用活動。
3	過剰	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	弊社は職業訓練を行っているため、優秀な生徒からヘッドハンティングする。
4	適正	製造業(生産財)	21名～30名	福岡	来期の採用に関しまして、高校生を新規に採用して、(今までは、大卒でしたが、高校生・大卒と業種に関係が無いために高校生を採用した)
5	適正	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	大学へのPR、共同求人に参加。
6	適正	製造業(生産財)	51名～100名	筑後	派遣社員の受け入れ・海外からの技能実習生受け入れ
7	適正	製造業(生産財)	6名～10名	筑後	新卒説明会受講申込みなど。
8	適正	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	ハローワークとの連携、外国人研修制度の利用。
9	適正	製造業(消費財)	21名～30名	北九	賃金制度、評価制度の作成。
10	適正	製造業(消費財)	31名～50名	筑後	新卒採用。
11	適正	建設業(建築)	11名～20名	福岡	経営指針書に基づく事業計画を元に、少しずつでも確実に新卒採用を進めている。
12	適正	建設業(建築)	21名～30名	福岡	HPで社員教育制度をアピール
13	適正	建設業(土木)	21名～30名	福岡	定期新卒採用。
14	適正	建設業(設備)	0名～5名	福岡	地域で高卒採用している。
15	適正	商業・流通業	31名～50名	福岡	定期的な新卒採用
16	適正	商業・流通業	31名～50名	福岡	短期で辞められ内容にコミュニケーションをとっている。パートさんには土日祝日には+100/H 上乘せしている。
17	適正	商業・流通業	51名～100名	福岡	高齢者採用、障がい者の採用、外国人の採用を検討しています。
18	適正	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	社員の資格取得の支援

19	適正	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	アルバイト採用。
20	適正	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	高齢者を中心とした、就職困難者の活用、外国人労働力の確保。
21	適正	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	ハローワークへの掲載。
22	適正	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	大学の教授とのパイプづくり。福利厚生改善
23	適正	サービス業(対事業所)	11名~20名	県外	求人は年間行っておりますが、募集しても定着しない。
24	適正	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	新卒採用
25	適正	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	リクルートサイトの作成。
26	適正	サービス業(対事業所)	21名~30名	筑豊	採用の自動化
27	適正	サービス業(対事業所)	31名~50名	県外	リクナビへの掲載・大学への訪問・インターンシップなどの活動を継続している。
28	適正	サービス業(対事業所)	51名~100名	福岡	定期的な新卒採用
29	適正	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	特殊業種のため人材の紹介所等あり。
30	適正	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	福利厚生の充実
31	適正	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	新しい園で働きたいという保育士がいるので絶対開園します。
32	適正	サービス業(対個人)	6名~10名	筑豊	年配者に勤務して頂いているので、次期候補の方を探し、いかなる時も安定できるよう考えていきたい。
33	今後の不足を懸念	製造業(生産財)	11名~20名	北九	共同求人による情報。
34	今後の不足を懸念	製造業(生産財)	11名~20名	筑後	大学・専門学校に求人を出している。
35	今後の不足を懸念	製造業(生産財)	21名~30名	筑後	海外へのアウトソーシング
36	今後の不足を懸念	製造業(生産財)	51名~100名	福岡	インターシップを含めて多岐に渡る人材確保を行い成果を出している。
37	今後の不足を懸念	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	新卒求人の計画、学生実習受け入れ等
38	今後の不足を懸念	製造業(消費財)	11名~20名	北九	計画の前倒しで人材確保の手立てを講じている
39	今後の不足を懸念	製造業(消費財)	11名~20名	筑後	高校、短大への訪問。
40	今後の不足を懸念	建設業(建築)	0名~5名	福岡	業種により職安は当てにならないので、知り合いに声をかけ、紹介依頼。

41	今後の不足を懸念	建設業(建築)	100名以上	福岡	コンサルタントに依頼し指導を受けている。
42	今後の不足を懸念	建設業(建築)	11名~20名	福岡	各種合同会社説明会に参加したり、ハローワークに求人を出している。
43	今後の不足を懸念	建設業(建築)	11名~20名	福岡	ハローワーク、知人、協力会社協力依頼。
44	今後の不足を懸念	建設業(建築)	11名~20名	筑後	新入社員の確保。
45	今後の不足を懸念	建設業(建築)	11名~20名	筑後	新社員確保。
46	今後の不足を懸念	建設業(建築)	6名~10名	福岡	新卒採用
47	今後の不足を懸念	建設業(建築)	6名~10名	福岡	労働条件の改善。
48	今後の不足を懸念	建設業(建築)	6名~10名	北九	高校生を中心にインターンシップを行い、高校との関係を構築している。
49	今後の不足を懸念	建設業(土木)	11名~20名	福岡	求人を細かく幅広くやっている。
50	今後の不足を懸念	建設業(土木)	11名~20名	筑豊	ポリテクセンターからの情報。
51	今後の不足を懸念	建設業(土木)	21名~30名	福岡	ハローワーク等への求人広告。
52	今後の不足を懸念	建設業(設備)	0名~5名	筑後	ホームページのリニューアルをしてイメージアップする予定。
53	今後の不足を懸念	建設業(設備)	11名~20名	福岡	新卒求人
54	今後の不足を懸念	建設業(設備)	21名~30名	筑後	来年度卒業生の募集
55	今後の不足を懸念	建設業(設備)	6名~10名	福岡	ハローワークに募集。
56	今後の不足を懸念	建設業(設備)	6名~10名	福岡	求人を出す(来春卒業予定の高校生の求人)。
57	今後の不足を懸念	商業・流通業	0名~5名	福岡	いろいろな所での募集。労働局、県。
58	今後の不足を懸念	商業・流通業	0名~5名	福岡	社外人材のネットワーク化。
59	今後の不足を懸念	商業・流通業	100名以上	福岡	インターンや採用活動に担当者をつけ精力的に活動している。中途採用でもオリジナルのサイトを構築し応募しやすくした。
60	今後の不足を懸念	商業・流通業	100名以上	福岡	HPで対応済み。
61	今後の不足を懸念	商業・流通業	11名~20名	北九	募集している。
62	今後の不足を懸念	商業・流通業	11名~20名	北九	同友会、採用共育研究会に入り情報を集めている。他社がどのようにしているのか研究中。
63	今後の不足を懸念	商業・流通業	31名~50名	福岡	新卒定期採用。
64	今後の不足を懸念	商業・流通業	31名~50名	筑豊	多種の募集広告媒体を利用している。
65	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	異分野の方を対象に勉強会を開催している

66	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	1.求人条件において他社と差をつけるために、給与面で他社より給与額を多めにしている。2.既存社員に対して大幅な昇給と昇給時期の前倒し、離脱を防止すると同時に、新規社員と既存社員の給与格差が大きく生じないように対策した。3.HPの求人ページの見直し、選択する求人媒体の見直しをしている。
67	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	インターンシップを活用している。
68	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	専門学校、大学まわり、大学での説明会、リクルート活用
69	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	短時間労働制度、資格取得制度。
70	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	求人委員会参加
71	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	11名~20名	北九	新卒採用。
72	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	採用HPの作成。人材紹介・派遣の活用。インターンシップ、託児所設置。
73	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	31名~50名	-	短時間の女性スタッフを募集中。
74	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	51名~100名	福岡	外注。
75	今後の不足を懸念	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	募集を行っている。
76	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	0名~5名	北九	新卒向け就職説明会等への参加。
77	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	100名以上	筑後	紹介全社利用。
78	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	11名~20名	福岡	経営指針に基づく経営を推進
79	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	11名~20名	北九	求人(ハローワーク)を出しているが応募はない。
80	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	11名~20名	筑後	専門学校・大学へインターンシップの受け入れを実施し、当社で3週間~1ヶ月実習してもらい、少しでも興味を持ってもらえる様にしている。
81	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	21名~30名	福岡	労働条件改善
82	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	21名~30名	県外	SNSを対応予定。
83	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	31名~50名	福岡	新しい仕組みを取り入れている。社内育児補助金制度。

84	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	新卒採用。
85	今後の不足を懸念	サービス業(対個人)	6名~10名	筑豊	メーカーの研修生制度や出向制度などを利用した育成プログラムを活用を前提として、包括的な育成体制が取れることをアピールして求人をしている。
86	今後の不足を懸念	-	11名~20名	筑豊	就業規則の見直し、経営観の改革、社員教育、スタッフ会議の提起開催・・・いろいろと勉強に実行してます。
87	不足	製造業(生産財)	6名~10名	福岡	求人広告。
88	不足	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	ほしい人材に関しては、それ専門の会社さんをお願いしている
89	不足	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	外国人実習生制度(ミャンマー)
90	不足	製造業(消費財)	21名~30名	筑後	ネット、おり込みチラシ、冊子、ハローワーク。
91	不足	建設業(建築)	6名~10名	福岡	ハローワーク、民間雑誌に求人掲載をしておりますが採用決定まで至っておりません。外国人労働者も検討しておりますがなかなか踏み切れずにいます。
92	不足	建設業(土木)	0名~5名	福岡	対象学校へ訪問。合同企業説明会参加。※対策はしているが現時点で80~90%以上の内定率なので厳しい状況。
93	不足	建設業(設備)	100名以上	福岡	女子学生に採用変更
94	不足	建設業(設備)	21名~30名	福岡	ハローワーク等。
95	不足	建設業(設備)	51名~100名	福岡	採用活動を積極的に行っている。
96	不足	建設業(設備)	6名~10名	福岡	紹介者を通じて根回ししている。
97	不足	商業・流通業	11名~20名	福岡	新卒採用に動いているのと、ハローワークでの求人。
98	不足	商業・流通業	21名~30名	福岡	日々、求人をしている。
99	不足	商業・流通業	51名~100名	福岡	中途採用、新卒採用実施中であるが応募少ない。
100	不足	商業・流通業	51名~100名	筑豊	共同求人参加や外部専門業者委託。

101	不足	商業・流通業	6名～10名	福岡	ハローワークと人づての募集。さらにインターネット広告による募集を今後進める。
102	不足	商業・流通業	6名～10名	福岡	人材センターなどに募集をかけているが来ない
103	不足	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	中途採用の求人を、従来の求人誌の紙ベースから、WEB求人に変更した。問い合わせ件数はかなり増えたが、採用はそれ程でもなかったが、従来の紙面ベースよりは効果があった。
104	不足	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	パート募集の媒体を紙からwebへ全面シフト
105	不足	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	同友会以外でも定期的な合説の参加
106	不足	サービス業(対事業所)	100名以上	北九	新規採用で内定辞退が出ないようにしている。
107	不足	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	求人募集をおこなっているぐらい。
108	不足	サービス業(対事業所)	51名～100名	県外	求人広告。
109	不足	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	ハローワークなどにチラシ等。
110	不足	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	ネットでの募集。
111	不足	サービス業(対事業所)	6名～10名	県外	ハローワークや知人に声掛け。
112	不足	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊	声掛け。
113	不足	サービス業(対個人)	100名以上	福岡	新卒、中途採用強化、社内紹介制度、外国人雇用。
114	不足	サービス業(対個人)	11名～20名	筑豊	ありとあらゆる求人
115	不足	サービス業(対個人)	11名～20名	筑豊	求人にお金をかける。
116	不足	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡	計画費用を予算立て
117	不足	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊	求人募集している
118	不足	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡	求人誌など
119	不足	サービス業(対個人)	51名～100名	北九	ハローワーク、民間などや、知人等。
120	不足	サービス業(対個人)	6名～10名	北九	企業説明会、ハローワークの活用。
121	不足	-	11名～20名	県外	自ら獲得に出かけている。
122	-	サービス業(対個人)	100名以上	筑後	新卒採用の推進。